

花ちゃん、オー君、モンタ博士、フツ博士のくわがたド根立ててく5

国立市立国立第七小学校

平成29年5月18日 NO.19 (419)



食虫植物 (ハエトリグサ)

オー君 「あれあれ！これは食虫植物だ。」

モンタ博士「そのとおり。不思議な植物として、この前は『エアプランツ』を紹介したけど、今日は、食虫植物だよ。」

花ちゃん 「食虫植物というと、あの虫を食べる植物ですか。」

モンタ博士「そうだよ。ふつうの植物は、虫に蜜をとられたり、葉や果実を食べたりしますが、食虫植物は、その逆で虫をつかまえて食べ栄養とするんだよ。」

オー君 「虫をつかまえるというけど、どうやってつかまえるのですか。」

モンタ博士「いろいろな方法があってね、葉っぱではさんだり、穴におとしたり、ねばねばでくっつけたり、食虫植物の種類によってちがいがあんだ。」

花ちゃん 「食虫植物って、特別な植物なんですね。」

モンタ博士「特別な植物のように聞こえるけど、ふつうに見られる植物と同じように葉も

あれば茎くきもあり、花はなも咲かせ種たねをつく。光ひかりと水みずと空気くうきから光合成こうごうせい(植物の葉などにある葉緑素が、光や二酸化炭素と、根から吸いあげた水とででんぷんを作るはたらき)をおこなって成長せいちょうするということでは同じだよ。」

オー君 「なるほど、そうですか。ところで、左ひだりの写真しゃしんの食虫植物しょくちゅうしょくぶつは何ですか。」

モンタ博士「これは、『ハエトリグサ』というもので、とてもよく知られている食虫植物しょくちゅうしょくぶつさ。よーく見てごらん。何かなに気がつくことはないかな。」

花ちゃん 「葉はっぱみみたいなものが、貝かいがらのように花はなのように見えます。」

モンタ博士「それから、それから・・・。」

オー君 「外側うちがわには、歯はのようなとげとげが並んでいます。それから、内側うちがわにはとても細ほそい毛けのようなものが3本ほんずつ見えます。」

モンタ博士「さすがはオー君。よくき気がついたね。えらい！ご立派りっぱ。その内側うちがわの針はりのような毛けは、感覚毛かんかくもうと呼ばれるもので、それがセンサーとなっているんだよ。」

花ちゃん 「センサーって、どういう意味いみですか。」

モンタ博士「むずかしくいうと、『五感ごかん』(目め・耳みみ・鼻はな・口くち・手てざわり)もセンサーといえるけど、ハエトリグサの場合ばあいには、その針はりのようなものに虫むしがふれると、瞬間しゅんかんでき的に閉とじて、虫むしをつかまえるというわけさ。(1回目いちめいではなく2回目にめいに閉とじる)」

オー君 「ということは、ペンペンのようなもので、その針はりのような毛けにふれれば葉はっぱが閉とじるということですね。それはおもしろいですね。実験じっけんしたいですね。」

モンタ博士「そうだね。みんなが集あつまったらやろう。でも、勝手かってにさわったりしないね。」

花ちゃん 「それはどうしてですか。実験じっけんができませんとつまらないのですが・・・。」

モンタ博士「ハエトリグサは、葉はっぱを閉とじたり開あけたりするのに、たくさんのエネルギーエネルギーを使うんだ。そうすると、ハエトリグサが弱よわってしまうらしいんだ。でも、そのうちいつか特別とくべつに見せてあげよう。実験じっけんしてみよう。」

オー君 「わーい！それは楽しみたのみです。本物ほんものの虫むしを入れてみたいですね。」

モンタ博士「そうだね。それもそのうちやってみよう。」

花ちゃん 「不思議ふしぎでおもしろい植物しょくぶつをこれからもいろいろと教おしえてください。」

モンタ博士「そうだね。モンタ博士の不思議ふしぎおもしろ植物しょくぶつ紹介しょうかいコーナーはまだまだ続つづくよ。」